

# 浜中だより

第 1 号

御前崎市立浜岡中学校  
平成26年4月14日(月)

文責：漢人

校訓「自主」「共生」「自立」

学校教育目標「光り輝く学校」

学校経営目標「地域が誇れる浜中生の育成」

## 【入学式 校長式辞から(抜粋)】

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。我が子が、こんなにも大きくなって晴れて中学生になる日を、今、迎えました。子どもが生まれたから親になるのではなく、子どもの成長と共に親も育つ。子どもが中学一年生になれば、親年齢も中学一年生です。

今後、この場にいる我が子と生活をする多くの子どもたちを広く深く見ることで、自分の子の意外な一面も見えてくるはずですよ。

私たち教職員と共に、目の前の、ちょっと大きめな学生服やセーラー服を身に着けている我が子の姿を目に焼き付け、本校の目指す「地域が誇れる浜中生の育成」の教育に深いご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、205人の新入生諸君。本日から浜岡中学生であります。その制服の袖に手を通す仕草も、ボタンをはめる仕草も、ぎこちないけれども、もう中学生であります。

本校、浜岡中学校は昭和33年、浜岡町立浜岡中学校、同じく浜岡東中学校、同じく浜岡北中学校が統合して誕生しました。我が校、校歌の二番には、「霊峰富士」という歌詞がうたわれています。これは、富士山のように日本一高き徳・道徳心を身につけて欲しいという願い、そして校歌の三番には「遠州灘」の歌詞が登場し、それは太平洋のように広き知識を身につけて欲しいという、君たちの成長を喜びとしているすばらしい校歌なのです。

「高き徳と広き知識」浜岡中の生徒であるのなら、また保護者であるのなら決して忘れてはならず、日々努力しなくてはならないものなのです。

また、「地域が誇れる浜中生」と同じくらいに、「母校愛を示す浜中生」も目指しています。その女子のセーラー服の二本線が意味するように、親から子へと代々引き継ぐべき「道徳心のある豊かな人間性」そして「高い知性と文化の香りをもし出す品格」を備えた中学生を育てるという人間教育を示していると私は考えます。

本日、新入生諸君は「自分の将来の夢の実現」に向かって取り組もうという強い意欲と覚悟を決め、自らの意志によって本校の門をくぐったことだと理解します。本日の入学式は、諸君がこの浜岡中学校で、自ら学び、自ら成長するという決意を改めて確認する場であり、呼名に対する返事は、ここにおられる御前崎市の関係者、本校職員や保護者の方々に対する誓いの意味を示すものでもあります。

205人の新入生諸君。この中学三年間も含めて、これから生きていくということは、多くの事を経験し、何度も失敗して成長していくことです。中学生になることで、自分を更に向上させる挑戦をしていきなさい。

毎日の学習は感動なくしてはあり得ない。全身全霊で、目に見える広き知識を得、全身全霊で目に見えない高き徳を持つ心を育て続けて欲しいと強く思います。

結びに保護者の皆様にお願いがあります。親として、人生の苦しさだけを強調すれば、我が子たちは、家庭で地域で夢をもって生きる意欲と希望を失ってしまいます。親として、前向きに生きている数多くの事例を示し、困難に負けずに工夫のある生き方をしている人々の姿に、我が子たちが感動し、たくましく生きようとする心が育つように、根気良く取り組んでほしいと希望します。

本日ここに集いし、みずみずしい感性をもち希望に溢れる205人の新入生にとって幸多き三年間であれ 本日ここに集いし、すべての保護者にとって幸多き三年間であれ

## 【新入生代表誓いの言葉；吉野優斗さん】

ぼくは母校の浜岡北小学校で、とても充実した日々を過ごすことができました。楽しい思い出やつらかった思い出もあった北小を卒業し、今日この浜岡中学校に入学することができました。今日から始まる中学校生活への期待で、今、胸がいっぱいです。

小学校では、どんなことにも積極的にチャレンジしてきました。また、どんなときも「ありがとう」と感謝することの大切さを学んできました。

中学校生活では、これまでの小学校生活とは大きく変わり、不安なことがあるかもしれませんが、しかし、仲間とならきっと乗り越えられると思います。

中学校ではたくさんの仲間を作り、みんなと一緒に1日も早く、立派な浜岡中学校生になることを誓います。



# 10名の新しい職員が着任しました。 よろしくお願ひします。

所属学年等	氏名	生活の本拠地	所属学年等	氏名	生活の本拠地
3年(英)	杉枝 佳乃	掛川市	統括事務主幹	赤堀 衛	掛川市
1年(社)	中村 雅樹	島田市	2年(理)	吉岡 剛	牧之原市
1年(国)	山岡 文彦	菊川市	1年(英)	澤島 彩子	御前崎市
1年(英)	石川 佳延	焼津市	県非常勤	松井 博	掛川市
1年(理)	鈴木 里穂	菊川市	市支援員	松下 直美	牧之原市

## 【始業式 2年生徒代表の言葉；加藤志遠さん】

僕が2年生になって頑張りたいことは2つあります。1つ目はすばやく正しい行動を心がけることです。2年生になると後輩の1年生がきます。今までは2・3年生をお手本として生活してきましたが、今度は僕たちが新1年生のお手本となる正しい行動を心がけていかなければいけないと思います。

もう1つは、学習面です。1年生の内容も難しかったのですが、2年生ではさらに難しくなると思います。テストでは、授業の内容が出るので、普段の授業の内容をしっかりノートにまとめ、家で勉強や復習をしっかりやり、その内容が頭に入ると思います。今ここで言うのは簡単ですが、このことを実行できるように頑張りたいです。



## 【始業式 3年生徒代表の言葉；沖玲実さん】

私が2年生で力を入れてきたことは大きな行事です。体育の部では応援リーダーとして声を出し、合唱の部では推進委員になり皆をまとめました。学級の心をひとつにすることはとても大変なことですが、「行事の成功は日頃からリーダーの声がどれだけみんなの心に届くかで決まる」と、実感しました。

3年生の新しいクラスでもリーダーとなり、学級の皆が「このクラス好き」と言える学級にしたいと思います。また、受験生として部活動と学習を両立するために時間を大切にしたいと思います。家庭学習で1年からの復習を自学ノートにやっていきます。部活動でも自主練に励み、悔いのない終わり方をしたいです。

私たち3年生は、これから浜中のリーダーになります。服装や行動などどんな場面でも下級生の手本となるよう自覚をもって生活していきます。



## 4月の教育計画

日	曜	行事予定	給	部	日	曜	行事予定	給	部
4/7	月	新任式・始業式・入学式	×	×	26	土		\	△
8	火	対面式・身体測定	弁	◎	27	日		\	△
9	水	通学区会・身体測定	弁	×	28	月		○	×
10	木	避難訓練・聴力再検	○	×	29	火	昭和の日	\	△
11	金	側わん再検	○	◎	30	水	歯科検診(3年・学習室)	○	×
12	土		\	△	5/1	木	生徒大会	○	◎
13	日		\	△	2	金	1年生部活本入部	○	×
14	月		○	×	3	土		\	△
15	火		○	△	4	日		\	△
16	水	P T A総会	○	△	5	月		\	△
17	木	家庭訪問(新野・朝比奈・北木)	○	×	6	火		\	△
18	金	家庭訪問(佐倉)	○	◎	7	水	①遠足②宿泊訓練③修学旅行	弁	×
19	土		\	△	8	木	①フィールドワーク②宿泊訓練③修学旅行	弁	×
20	日		\	△	9	金	③修学旅行	弁	×
21	月	家庭訪問(高松・池新田)	○	×	10	土		\	△
22	火	全国学力状況調査(3年)実力テスト(1・2年)	○	◎	11	日		\	△
23	水	家庭訪問(池新田)	○	×	12	月		弁	×
24	木	家庭訪問(予備日)	○	◎	13	火	内科検診	○	◎
25	金		○	◎	14	水	歯科検診(2年)	○	×

**「自分の命は自分で守ろう！！」** ヘルメットをかぶり、交通マナーを守って、登下校しましょう。

……略……あの時、あんなにも小さかった我が子が、こんなにも大きくなって晴れて中学生になる日を、今、迎えました。

私たち教職員は、目の前の、ちょっと大きめな学生服やセーラー服を身に着けている生徒の姿を目に焼き付け、一丸となってお子様の成長を助けるとともに、自分の長所や短所を正しく評価でき、他の仲間との望ましい関係を築くことができる個性豊かな、たくましい生徒たち「地域が誇れる浜中生の育成」を目指す教育を展開してまいります。

私たちは、この三年間で、お子様一人ひとり自らの成長のための課題を見つけ、それを自ら応えていく力を養ってまいります。ご家庭での一層の家庭教育をお願いしますと共に、本校に対する深いご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、244人の新入生諸君。本日から浜岡中学生であります。本校の制服の袖に手を通す仕草も、ボタンをはめる仕草も、ぎこちないけれども、もう中学生であります。

本校、浜岡中学校は昭和33年、浜岡町立浜岡中学校、同じく浜岡東中学校、同じく浜岡北中学校が統合して誕生しました。我が校、校歌の二番には、「霊峰富士」という歌詞がうたわれています。これは、富士山のように日本一高き徳・道徳心を身につけて欲しいという願い、そして校歌の三番には「遠州灘」の歌詞が登場し、それは太平洋のように広き知識を身につけて欲しいという、君たちの成長を喜びとしているすばらしい校歌なのです。

「高き徳と広き知識」浜岡中の生徒であるのなら、また保護者であるのなら決して忘れることなく、日々努力しなくてはならないものなのです。

また、「地域が誇れる浜中生」と同じくらいに、「光り輝く学校」も目指しています。暗闇の中に光り輝くろうそく。そのろうそくの炎はとても小さいけれど、確かにそこにあることを自らの身体を削ってでも示しています。そのように身を削っているということが、いかに周りに安らぎとか、思いやりとか、安心感とか、勇気とかを与えていることでしょうか。

小さなろうそく、それ自身が思う以上に、その炎は周りを明るく照らし、手を近づけて来た友に、その暖かさを伝えることもできるのです。小さなろうそくのように、君たち諸君には、家庭でも地域でも、この浜岡中学校で存在感があり、そして輝くことができるのです。

244人の新入生諸君。諸君は、多くの事を経験し、何度も失敗して成長していくのです。中学生になることで、自分を更に向上させる挑戦をしていきなさい。

毎日の学習は感動なくしてはあり得ない。全身全霊で、目に見える広き知識を得、全身全霊で目に見えない高き徳を持つ心を育て続けて欲しいと強く思います。

結びに保護者の皆様にお願いがあります。親として、人生の苦しきだけを強調すれば、我が子たちは、家庭で地域で夢をもって生きる意欲と希望を失ってしまいます。親として、前向きに生きている数多くの事例を示し、困難に負けずに工夫のある生き方をしている人々の姿に、我が子たちが感動し、たくましく生きようとする心が育つように、根気良く取り組んでほしいと希望します。